

星の界（いつくしみ深き）

工					
合	五	工	尺	中	尺
合	工	尺	中	上	中
合	尺	中	上	中	合
尺	中	上	四		

上	つ きな きみ そら に				
合					
合	工	王	五	工	中
合	王	五	工	中	上
合	上	四			
乙					

合	らめく ひかり あ あそ のほし				
き					
四	中	四	工	中	上
四	中	四	工	中	上
四	中	上	工		
王	五	工	中	上	

四	げ き ぼうの すがた				
か					
乙		合	四	中	上
乙		合	四	中	上
乙		合	四	中	上
四					

上	ん ちは はて な し む きゆうの うち				
じ					
上	中	尺	上	中	
上	中	尺	上	中	
上	中	尺	上	中	
五					

上	に い ぎその ほし か げ				
に					
老	合	工	王	五	工
老	合	工	王	五	工
老	合	工	王	五	工
乙					

合	き わめも ゆか ん △				
き					
四	中	上	四	老	四
四	中	上	四	老	四
四	中	上	四	老	四
合					

星の界（いつくしみ深き）

本調子

2/2

一、星の界

1 月なきみ空に きらめく光

ああ その星影 希望のすがた
人智は果てなし 無窮のおちに
いざその星影 きわめも行かん

2 雲なきみ空に 横とう光

ああ 洋々たる 銀河の流れ
仰ぎて眺むる 万里のあなた
いざ棹させよや 窮理の船に

いつくしみ深き（讃美歌312番）

1 いつくしみ深き 友なるイエスは

罪とが憂いを とり去りたもう
心の嘆きを 包まず述べて
などかは下ろさぬ 負える重荷を

2 いつくしみ深き 友なるイエスは

われらの弱きを 知れて憐れむ
悩みかなしみに 沈めるときも
祈りにこたえて 慰めたまわん

3 いつくしみ深き 友なるイエスは

かわらぬ愛もて 導きたもう
世の友われらを すて去るときも
祈りにこたえて 労わりたまわん